



はくざんコミュニティ・スクールだより

平成28年4月29日発行 第1号

子どもの成長をみんなで応援しましょう!

コミュニティ・スクールの取り組みが始まって今年度で6年目となりました。みなさんのおかげで、「地域とともにある学校づくり」の成果がいろいろな場面で感じられるようになりました。学校運営協議会を代表いたしまして心よりお礼申し上げます。さて、今年度の取り組みでは、「子どものしてみたい気持ちを応援する大人力を発揮しよう」を意識したいと考えています。「できるときにできることを」を合い言葉に、子どもの健全な育ちをより多くの方々に応援していただきたいものです。私たちの願いは、「明るく元気な地域の子ども」が育つことです。そのために、地域、家庭、学校が一丸となって、今年も活動を盛り上げていきましょう。よろしくお祈りします。



山崎学校運営協議会長

第1回コミュニティ三部会



4月15日に、第1回コミュニティ三部会が開かれました。昨年度の成果と反省を受けて、今年度の主要な活動について話し合いました。以下、話し合いの概要を紹介します。

わくわく生活部会では、夏休みのわくわく講座で、子どもの主体的な取り組みを講座開設に生かせないか検討しています。にこにこ生活部会では、校区クリーン活動と校区ふれあい遠足を併せて実施する計画を進めています。子どもたちによるふれあい遠足実行委員会が立ち上がり、より主体的な活動を支援します。すくすく健康部会では、お米を作ろう大作戦で、日々の稲や田んぼの変化に気づき、栽培から消費までをより強く意識できるような食農学習を行うことを計画しています。また、泥リンピックでは、田中小学校の子どものたちや保護者、地域の方々と交流する予定です。

第1回学校運営協議会



4月25日に、町教育委員会より市川教育長をお迎えし、第1回学校運営協議会が開かれました。校長より今年度の教育目標及び経営方針について説明の後、活動の方向性や具体的な取組について以下の協議内容が承認されました。

- 各部会において、活動のねらいを明確にして、子どもの主体性が発揮できる場づくりをする。
- 「あいさつは家庭から」を合い言葉に、あいさつの習慣化に取り組む。家庭の教育力が発揮できる場を仕組む。
- 学ぶ意欲をもつために夢をもつ子どもに育てる。その為に学校・地域・保護者が連携し取り組む

平成28年度 学校運営協議会委員の皆様

- | | |
|------------|-----------|
| ・会長 山崎可壽子 | ・委員 西丸 和代 |
| ・副会長 鴨井 俊徳 | ・委員 串田 久子 |
| ・副会長 佐竹 一夫 | ・委員 中野 貴章 |
| ・委員 柳澤 良明 | ・委員 安西 進 |
| ・委員 阿野 秋子 | ・委員 白井 敏雄 |
| ・委員 武田 珠恵 | ・委員 眞鍋 勇雄 |

※ 今年度、副会長に佐竹一夫様が選出されました。また、委員に眞鍋勇雄様が任命されました。

